

無欲で射止めた好結果
新人弓道大会で井上富恵さんが準優勝

2月17日に博多の森弓道場で開かれた「初心者弓道教室終了者新人弓道大会」に福智町弓道教室から5人が参加。井上富恵さん（赤池）が、女子の部で見事準優勝に輝きました。「何か新しいことに挑戦してみよう」と半年前に弓道を始めた井上さんは「弓道に出会い没頭しています。これからもずっと続けていきたいです」と目を輝かせていました。



先生や先輩の親切なアドバイスで、めきめき腕を上げている井上さん（写真左）

突然降り始めた雨の中、自分たちのポスター看板を設置した金田小5年生。



きれいな川への願いを込めて
金田小5年生の河川愛護ポスターが看板に

2月29日に金田小5年生72人が、学校裏の彦山川河川敷に「理想の河川」をテーマにした看板を設置しました。「川を大切にしようという、子どもたちの意識がみんなに広まれば」と、地元環境保護グループ「めだかの楽校」（代表矢野義隆）の企画で、児童が描いた河川愛護のポスターを看板に加工。看板は全部で8台、町内の河川敷に設置されます。

自作の香炉を手取る高鶴智さん、繊細な描き落としも得意技法の一つ。



上野焼振興の功績讃えた全国表彰
高鶴智さん伝統的工芸品産業功労者褒賞受賞

上野焼（上野焼）申窯の高鶴智さんが、3月3日に東京都で伝統的工芸品産業功労者褒賞を受賞しました。高鶴さんは上野焼協同組合理事長や伝統工芸士会会長を歴任し、技術向上や後継者育成など産地振興に尽力。その功績を讃えた今回の全国表彰に「みなさんのおかげです。今後も自然体で陶芸と向き合っていきたい」と、喜びの表情を浮かべました。

発見から20年目の節目に想い込め
虎尾桜・源平桜周辺整備

「虎尾桜を心配する世話会」主催による虎尾桜と源平桜の周辺整備が3月2日に行われました。20人が参加し、桜周辺の雑木や下草を除去。虎尾桜発見から20年の節目を迎える年だけに、カメラやノコギリを持つ手にも一層力がこもっていました。今年の虎尾桜の見ごろは、昨年より遅めで4月上旬の予定。満開の緑色に再会できる日が楽しみです。



虎尾桜や源平桜のほか、福智山中腹で昨年発見したエドヒガンの周辺も整備。

共に歩んできた仲間たちと、体育館中に大きな歌声を響かせた校歌斉唱（赤池中）



夢を描いた旅立ちの日
町内3中学校で卒業式

春の始まりを告げる菜の花に小雨がばらつく中、思い出深い学舎に別れを告げ、新しい道へと歩み出す生徒たち。3月14日に町内中学校3校で卒業式が行われ、9年間の義務教育を修了した卒業生271人（赤池中109人・金田中85人・方城中77人）一人ひとりに卒業証書が手渡されました。長いようで短かったこれまでの学校生活を振り返った卒業生らは、保護者と恩師への感謝や在校生へのエールを込めた答辞を述べ、卒業の喜びと期待を胸に仲間や恩師との思い出をかみしめていました。

魅せた聞かせた福智のスター
福智町文化祭歌謡・詩吟発表会

2月24日に福智町文化祭のラストを飾る歌謡・詩吟発表会が、地域交流センターで盛大に開催されました。町文化連盟に加盟する約100人のど自慢たちが、80のプログラムで会場いっぱい美声を響かせました。華やかなスポットライトを浴びたわが町のスターに、会場に訪れた約300人の観客からは、惜しめない声援と拍手が送られました。



重厚な歌声を響かせた、プログラム14番「荒城の月を聞く連吟歌入り」。

そろいのトレーナーで町長を表敬訪問し、優秀賞受賞を報告した協議会役員。



地域に根ざした活動が評価される
健康づくり運動普及推進員連絡協議会が県優秀賞

地域のみなさんを対象に、健康づくりのための運動を指導している健康づくり運動普及推進員連絡協議会（会員34人）が、県の健康運動推進実践グループ優秀賞を受賞しました。2月21日に福岡市で開かれた「食と健康フォーラム」で表彰を受けた桑野寛子会長は「今後もみなさんの元気なパワーをもらいながら精力的に活動していきたい」と抱負を語りました。